

「令和6年度病虫害発生予報第8号」の発表について

○向こう 1 か月の主要な病虫害の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 豆類では、吸実性カメムシ類の発生が、東海及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ及びオオタバコガの発生が、全国的に多くなるまたはやや多くなると予想されています。
- ・ 果樹カメムシ類の発生が、南関東、東海、近畿、中国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、トマトのコナジラミ類やきくのアザミウマ類等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等进行分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。

本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病虫害防除所のホームページ等を参照してください。

国の病虫害発生予察情報及び都道府県病虫害防除所のリンク

参照URL: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

気象

気象庁の向こう 1 か月の予報（10月3日付け）では、気温は全国で高いと予想されています。降水量は、北日本太平洋側、東日本及び西日本で平年並か多い、北日本日本海側及び沖縄・奄美でほぼ平年並と予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL: https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html （外部リンク）

豆・いも類で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
大豆	吸実性カメムシ類	東海、北九州	甲信、近畿、四国

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・**吸実性カメムシ類**の発生が、東海及び北九州の一部の地域で多くなると予想されており、岐阜県から注意報が発表されています。本虫の飛来状況は地域や園地により異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、適期に防除を実施してください。

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	アブラムシ類	北関東	北九州
	ハダニ類	東海	北関東、甲信、中国、四国、北九州
	炭疽病	東海	北関東、四国、北九州
キャベツ	黒腐病		甲信、北陸、近畿
きゅうり	アザミウマ類	北陸	南関東、甲信、近畿、北九州
	コナジラミ類	北関東、北陸、近畿	南関東、九州
	べと病		甲信、近畿、中国
	褐斑病	北関東	甲信
トマト	コナジラミ類	北関東、北陸、東海	北東北、南関東、甲信
	すすかび病	北東北	中国
	黄化葉巻病	北関東	甲信
	灰色かび病	北東北	甲信
なす	アザミウマ類	南関東、北陸	近畿
ねぎ	アザミウマ類	北東北	南東北、甲信、近畿、四国
	ネギハモグリバエ	北関東	甲信
	黒斑病	北東北、南関東、甲信	南東北、北陸
アブラナ科共通	コナガ	北東北	東海、近畿、中国
きく	アザミウマ類	北東北、北関東、南九州	甲信、近畿、沖縄
	アブラムシ類	北東北、北関東	北九州
	ハダニ類		甲信、近畿、中国、四国
作物共通	オオタバコガ	東北、北陸、東海、近畿、四国、九州	甲信
	シロイチモジヨトウ	東北、北陸、東海、近畿、四国、九州	南関東、甲信、中国
	ハスモンヨトウ	南東北、南関東、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州	甲信

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

作物共通

・ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ及びオオタバコガの発生が、全国的に多くなるまたはやや多くなると予想され、多くの県から注意報が発表されています。幼虫の成育が進むと薬剤の効果が低下するので、若齢幼虫期が防除適期になります。都道府県が発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、適期に防除を実施してください。結球野菜では、結球内部に食入した場合に防除が難しくなることから、結球前に防除を実施してください。

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かんきつ	かいよう病	東海、南九州	
	ハダニ類	北九州	近畿、中国
	黒点病	東海	中国、南九州、沖縄
ぶどう	晩腐病	北東北	南東北
果樹共通	果樹カメムシ類	南関東、東海、近畿、中国、北九州	北関東、甲信、南九州
茶	ハマキムシ類	近畿	東海

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

果樹共通

・**果樹カメムシ類**の発生が、南関東、東海、近畿、中国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は、秋になると餌を求めて果樹園地に移動します。特に本年の春先に発生が多かった地域では、今秋の発生量に注意が必要です。

本虫の飛来状況は地域や園地により異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。果樹カメムシ類は薄暮期から夜間を中心に活動するため、夕方の薬剤散布が効果的です。また、山林に近い園地で被害が多い傾向があるので注意してください。

<参考>

果樹カメムシ類の防除について

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryou2/attach/pdf/index-33.pdf>

果樹カメムシ類の被害にご注意ください（生産者の皆様へ）

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryou2/attach/pdf/index-34.pdf>

サツマイモ基腐病の防除対策について

サツマイモ基腐病は感染したいもや苗、植物残渣がほ場内に持ち込まれることにより発生が広がります。今後、収穫を行うほ場では、いもに変色や腐敗がないか確認するとともに、別のほ場に移動する際には農機具や長靴等をよく洗浄・消毒してください。発病株は伝染源となることから、一斉に除去し、ほ場内及びその周辺に残さないよう、植物残さを含めて適切な処分を徹底してください。

なお、疑わしい症状を見つけた場合には、都道府県病虫害防除所等まで連絡してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和6年9月11日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

発表はありません

注) 重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
9月11日	岡山県	大豆、野菜類、花き類など	ハスモンヨトウ
9月12日	岐阜県	野菜類	コナジラミ類 (タバココナジラミ、 オンシツコナジラミ)
9月12日	岐阜県	大豆	吸実性カメムシ類 (ミナミアオカメムシ、 アオクサカメムシ、 イチモンジカメムシなど)
9月17日	徳島県	野菜類(特に、ねぎ、ブロッコリー、 カリフラワー)、花き類	シロイチモジヨトウ
9月17日	徳島県	野菜類(特に、ブロッコリー、レタス)	オオタバコガ
9月18日	千葉県	トマト、ミニトマト	トマト黄化葉巻病(TYLCV)
9月19日	福島県	野菜類、花き類	ハスモンヨトウ
9月19日	福岡県	大豆、野菜類(イチゴなど)	ハスモンヨトウ
9月20日	島根県	大豆、アブラナ科野菜(キャベツなど)	ハスモンヨトウ
9月20日	佐賀県	大豆、野菜類、花き類	ハスモンヨトウ
9月25日	長崎県	大豆、野菜類	ハスモンヨトウ
9月25日	大分県	大豆	ハスモンヨトウ
9月26日	大阪府	キャベツなどのあぶらな科野菜、 ねぎ類、しゅんぎく、花き類など	シロイチモジヨトウ
9月27日	香川県	ハスモンヨトウ： 大豆、野菜類、花き類 シロイチモジヨトウ： 野菜類(特にネギ、アスパラガス、 ブロッコリー)、花き類	シロイチモジヨトウ、 ハスモンヨトウ
9月27日	徳島県	野菜類、花き類	ハスモンヨトウ
9月27日	福岡県	大豆、野菜類	ハスモンヨトウ
10月2日	熊本県	大豆、野菜類、花き類	チョウ目害虫 (オオタバコガ、 シロイチモジヨトウ、 ハスモンヨトウ)
10月2日	三重県	大豆、野菜類、花き類	ハスモンヨトウ

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
10月2日	鳥取県	野菜（ネギ、ブロッコリー、キャベツ等）	ヨトウ類 （シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ）
10月3日	三重県	大豆、野菜類、花き類	オオタバコガ
10月4日	兵庫県	豆類、野菜類、花き類	シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ
10月4日	愛知県	大豆、野菜類、花き類	シロイチモジヨトウ
10月4日	愛知県	大豆、野菜類、花き類、果樹類	ハスモンヨトウ

注) 警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
9月18日	福岡県	ホオズキ	タバコノミハムシ
9月24日	福井県	ウメ	モモヒメヨコバイ
9月24日	宮崎県	マンゴー	ナンヨウキクイムシ
9月25日	神奈川県	— ※	トマトキバガ
9月30日	滋賀県	メロン、キュウリ	Cucurbit aphid-borne yellows virus
10月1日	京都府	タケ類	シナチクノメイガ
10月1日	高知県	ミョウガ	ミョウガ葉鞘褐色腐敗病（仮称）
10月3日	秋田県	宿根アスター	アワダチソウグンバイ

※：フェロモントラップへの誘殺

注) 各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

見慣れない病害虫被害が発生していた場合の対応

植物防疫法の改正により、新たに重要病害虫発生時の通報に関する規定が追加されました。我が国未発生又は我が国の一部のみが発生している重要病害虫が、万が一国内の未発生地域に侵入した場合、国内の農業生産に重大な損害を与えたり、農産物の輸出を阻害するおそれがあります。こういった重要病害虫の侵入に伴う国内の農業生産や輸出への影響を防止するためには、国内の未発生地域への重要病害虫の侵入を早期に発見し、速やかに的確な防除を実施することが重要です。

農作物に見慣れない病害虫被害が発生していた場合には、最寄りの植物防疫所又は都道府県の病害虫防除所等にお知らせください。

植物防疫所の連絡先
 参照URL：<https://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/221121.html>
 都道府県の病害虫防除所の連絡先
 参照URL：<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/boujosho.html>

(地域)

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

(発生量(程度))

多い(高い)：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い(やや高い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない(やや低い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない(低い)：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

(平年値は過去10年間の平均)

(参考) 今後の発表予定日

第9号：令和6年11月13日(水曜日)

第10号：令和7年3月12日(水曜日)

(参考) これまでの発表

第1号：令和6年4月17日(水曜日)

第2号：令和6年5月15日(水曜日)

第3号：令和6年6月12日(水曜日)

第4号：令和6年7月10日(水曜日)

第5号：令和6年7月24日(水曜日)

第6号：令和6年8月7日(水曜日)

第7号：令和6年9月11日(水曜日)

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

担当者：岡田、城野、河合

代表：03-3502-8111(内線4562)

ダイヤルイン：03-3502-3382